

本書の発行に寄せて

日本の多くの大学で英語は必修科目であり、単位が取れなければ卒業ができないこともよくあります。小学校では、新たに英語の授業が導入されようとしていますし、企業においても、社内の公用語を英語にする会社が続出し、また入社や社内の昇進の際に TOEIC Test のスコアが重視されるなど、日本社会における英語の重要性はますます高くなっています。

その一方で、現実では大学入試の平易化や多様化にともない、英語ができなくても大学に入学できるようになってきています。ここ 10 年の間に、日本の大学生の英語力はその期待値の高まりとはうらはらに、かなり低下しているのではないかと思います。高等学校でも英文法中心の授業がない学校が数多く見られますし、英語教育の流れの中でも、英文法軽視の傾向が顕著にみられた時期もありました。しかし、一生の間に一度出くわすかどうかのさまつな英文法を覚えさせるのは論外としても、限られた時間で英語力を向上させるためには、基本的な英文法を身につけることは極めて効果的です。

そこでその「基本的」な英文法を身につけるにはどうしたらよいのかという問題になります。従来の伝統文法もそれなりに有効な手段ではあります。しかし英米文化学会の英語教育を研究している分科会では、もう少し簡単に効果的に、しかも重点的に英文法の理解を深める方法がないかと考え、認知言語学を応用した方法を選びました。学問として認知言語学を研究することと、それを応用して英文法の広い範囲をカバーし、しかも一冊のテキストにまとめることとの間には大きなギャップがありました。その溝を少しずつ埋めながら、教科書の形にするまでには、企画の段階では思いもよらなかった長い年月と、様々な試行錯誤を重ねなければなりませんでした。

このテキストではもうひとつの特徴として、リーディングのテーマを身近な「日本」についてのものに限定し、必要な英語学習に取り組みやすい環境を用意しました。英文について多少でも予備知識があると理解し易いということ、そしてそれらを応用していく際にも、話題が展開し易くなることを考慮しています。

このテキストの構成内容がすべての中で最善の方法であるかどうか、ハッキリとした結論が出ているわけではありません。けれども、従来の方法よりかなり有効な部分を多く持っていることもまた事実だと思われます。このテキストでの学習が、多くの大学生の英語力の向上に資することを大いに期待しております。

2011 年 春

英米文化学会会長
小野 昌

はじめに

最近の英語教育の軸は、「読む・書く」から「聞く・話す」に移ってきています。積極的に英語を話そうとする学習者が増えているのは、好ましい傾向です。オーラル・コミュニケーションにも、基本的な英文法の知識は不可欠です。本書は、その英文法を認知言語学の視点から視覚的に捉えることができる、より興味深い教材づくりを目指しました。

本書では、イメージを用いた分かりやすい文法解説を用意しています。

学習者の「なぜ？」という疑問に答えられる説明を十分に行い、学習者が自ら考え、納得し、次に応用できる力の蓄積を目指しました。文法は図や絵を盛り込んで視覚的に説明し、練習問題は易しいものから難しいものへと発展させています。作成にあたっては、大学においてモデル授業を行い、学生からのフィード・バックを参考にするなどの試行錯誤を重ねました。

またリーディングでは、日本を題材とした読み物を扱っています。

学生の皆さんにとって身近なはずの日本の文化や習慣について、英語で読む機会を持つことで、物ごとを客観的にとらえ、自ら考え発信する発信型の教材を目指しています。ユニットごとのテーマは、伝統的な日本文化から日本の技術、産業、習慣まで多岐に渡っていますので、今まで知らなかった日本について考え、興味を持つきっかけになれば嬉しいです。

本書は、リーディングでのトピックを、文法解説から練習問題へと発展させていく構成になっています。「読む・書く・聞く・話す」の4技能を取り入れた総合教材として、または特徴ある英文法のテキストとしても使っていただけるよう配慮しました。

最後になりましたが、豊富な経験を活かし興味深いリーディングとリスニングの英文を執筆され、また全ての英語の推敲をしてくださった **Anthony Allan** 先生、貴重なご意見をくださった金星堂編集部と営業部の皆さま、そして何よりも長年に渡る私たちの研究に厳しくも温かいご指導をくださった英米文化学会の諸先生方に、心より感謝申し上げます。

2011年 春

執筆者一同

本書の使い方

本書の各ユニットは、大きくわけて **Reading**・**Grammar Points**・**Exercise** の3つで構成されています。興味深いトピックによる導入と、文法確認から練習問題への発展へと無理なく学習が進められるようにしました。

● Reading

Warm-up

各ユニットのトピックに関連した簡単な質問について、ペアで話し合います。既存の知識を活性化させて英文読解へ入りやすくするためのものです。

Reading

日本の文化や習慣、現象についての英文読解です。学生の皆さんが興味を持ってそうな内容を、200語程度の読みやすい英文にまとめてあります。

Comprehension Questions

内容理解のための読解問題です。設問の1～3までは選択式、4と5は記述式です。

Grammar Check

読解した英文の中から、各ユニットでターゲットとしている文法項目についての質問に答え、読解と文法説明との橋渡しをします。

● Grammar Points

ターゲットとする文法項目を、図やイラストを用いて分かりやすく説明した文法解説です。

● Exercise

Grammar Exercise 1

ターゲットの文法項目を中心とした穴埋め式で、重要単語の復習もできます。

Grammar Exercise 2

さらに発展させた文法の練習問題です。理解を確実なものとしします。

Listen Up!

リスニングダイアログを通して、文法項目を確認しながら聴き取る力を養います。会話文の穴埋め後は、声に出して会話の練習をしてみましょう。

Speak Out!

ターゲットの文法項目を念頭に入れた自由発話練習です。自分で英文を作成し、ペアワークを通してこのユニットで学んだ文法を確認し、応用力を養います。

それぞれのタスクを進めていくことによって、重要な文法項目への理解を深め、自ら考え、応用して力がつくことを願っています。

Eyes on Japan **C O N T E N T S**

Unit 1	The Silver Screen	銀幕が観て来た映画館	1
		[時制]	
Unit 2	Queen Himiko	現代の卑弥呼たち	6
		[進行形]	
Unit 3	Leading the Way	リサイクル先進国	11
		[現在完了形・現在完了進行形]	
Unit 4	Lunch in a Box	お楽しみは弁当箱の中に	16
		[will / be going to]	
Unit 5	Discovering the Art of Wrapping	包んで魅せる日本	21
		[前置詞]	
Unit 6	Made in Japan	日本製のアイデアを世界へ	26
		[受動態]	
Unit 7	This is for You	気持ちを贈る	31
		[二重目的語構文]	
Unit 8	Picture Theater	紙芝居がやって来た!	36
		[have の用法]	
Unit 9	Stay on the Left!	刀が選びし左側通行	41
		[助動詞]	
Unit 10	Memory Lane	郷愁を誘うものたち	46
		[可算・不可算名詞]	
Unit 11	Food for the Soul	音楽は心の栄養素	51
		[冠詞]	
Unit 12	An Ancient Sport	歴史を受け継ぐ相撲	56
		[動名詞]	
Unit 13	Art is Explosion, Art is Magic!	芸術は爆発だ!	61
		[不定詞]	
Unit 14	From War to Peace	城に見る日本の変遷	66
		[比較級・最上級]	
Unit 15	The Sneezing Season	春は花粉と共に	71
		[関係詞]	

The Silver Screen

銀幕が観て来た映画館

Warm-up

ペアで話し合ってみましょう。

1. Which do you prefer, Japanese or foreign movies?
2. Who is your favorite actor or actress?



Reading

CD 02

Where is the best place to watch a movie? While most people enjoy watching them at home, we sometimes make a trip to a movie theater to see a new or even an old movie. Compared with one's living room, the atmosphere of a theater is more exciting and the impact of a movie on the silver screen is more powerful. Subsequently, seats in movie theaters are easily filled nowadays, but this was not always the case. During the golden age of cinema in Kyoto, for example, owners used various tactics to bring audiences to their seats. 5

Kyoto was the ancient capital of Japan, and for ten years in the postwar era, from 1947 to 1956, it was the capital of motion pictures. It had large film studios and over sixty movie theaters. Competition between the theaters was tough, so owners used creative methods to attract moviegoers. For instance, they introduced perfumed air-conditioning and reserved seating systems. At some theaters, they offered prizes such as trips, money, sewing machines, medicine, soap, and cookies. 10

Interestingly, at that time, people went to the movie theaters not only to watch movies. The theaters were cool in summer and warm in winter. This also attracted audiences because they wanted to escape the heat and cold of these two seasons. 15

Glossary

silver screen 「銀幕、スクリーン、〈the ~で〉映画界」 subsequently 「それに続き、その後」
 atmosphere 「(その場所の) 雰囲気」 tactics 「手段、方策、戦略」 ancient 「古代の、遠い昔の」
 motion picture 「映画」 competition 「競争、張り合うこと」 creative 「独創的な、創造的な、創造力のある」

●●● Comprehension Questions

本文の内容に合わせて、設問1～3は正しい答を選び、4と5は英文で答えましょう。

1. What did the owners of movie theaters in Kyoto invent to attract audiences?
a. Reserved seating systems b. Ticket discount systems c. Free bus services
2. Which of the following was not offered to moviegoers as prizes?
a. Cookies b. Trips c. Houses
3. Which of the following enables movie theaters to be filled easily?
a. Their discount tickets
b. Many kinds of movies, ranging from new to old
c. The impact of a movie on the silver screen
4. How long was Kyoto the capital of motion pictures?
5. Why did people in Kyoto go to the movie theaters, especially in summer and winter?

●●● Grammar Check

次の各文の [] 内の動詞を本文の時制に合わせて、必要に応じて直しなさい。

1. While most people [enjoy] watching them at home, we sometimes [make] a trip to a movie theater to see a new or even an old movie.
2. However, this [be] not always the case.
3. It [have] large film studios and over sixty movie theaters.
4. Competition between the theaters [be] tough, so owners [use] creative methods to attract moviegoers.
5. Interestingly, at that time, people [go] to the movie theaters not only to watch movies.

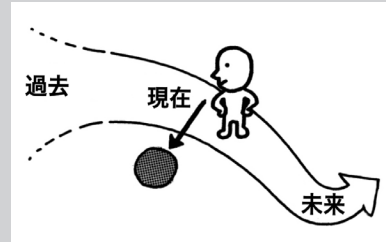
Grammar Points

時制（現在形と過去形） 距離感の違いを感じよう

英語の時制には、現在時制（現在形）と過去時制（過去形）があります。現在形は、今話している時の出来事、過去形は、今話しているときよりも前の出来事に使います。

■現在形

Taro is a freshman at Yale University now.
太郎は現在、イェール大学の一年生だ。



現在形は、現在の状態・反復する習慣・事実（現在において言えること）を表します。上の例文では、「太郎はイェール大学の学生である」という現在の状態を表しています。

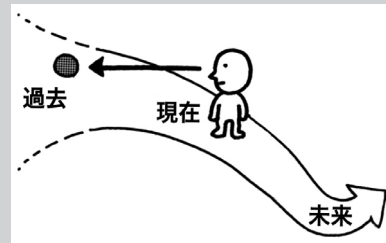
I と You 以外で主語が単数の時は、一般動詞では -s をつけ、be 動詞は am, is, are となります。

Natsuko likes movies very much. She watches at least three movies a week.
奈津子は映画が大好きだ。少なくとも週に3本は見る。

The Italian physicist Galileo Galilei said that the earth goes around the sun.
イタリア人物理学者ガリレオ・ガリレイは、地球は太陽の周りをまわっていると言った。

■過去形

Ten years ago, Hanako was a high school teacher.
10年前、花子は中学校の教師だった。



過去形は、現在と切り離し、はっきりと過去の事実を述べる場合に用いられます。上の例文では、「花子は、今はもう中学校の教師ではないかもしれない」ということが、過去形の使用から分かります。一般動詞の規則動詞は -ed をつけます。be 動詞は was/ were です。

下の例のように「心的距離の遠さ」を表すこともできます。

I thought you were a kind person! 親切な人だと思っていたのに!

過去形では、過去の出来事をはっきりと述べたり、心理的な距離を表したりするために、ago 「～前」、when 「～の時」などが共に用いられることもあります。

●●● Grammar Exercise 1

日本語の内容に合わせて () に適する語を選択肢から選び、必要に応じて形を変えて英文を完成させましょう。

- Japanese people () both () and () movies.
日本人は洋画も邦画も楽しむ。
- After World War II, Kyoto () large film studios and many movie theaters.
第二次世界大戦後、京都には大きな撮影所やたくさんの映画館があった。
- Theater owners () creative methods and () people to their theaters.
映画館のオーナー達は独創的な手法を用い、人々を映画館に呼び寄せた。
- After video rental shops (), many theaters ().
レンタルビデオ店の出現の後、たくさんの映画館が廃業となった。
- Now people around the world () Japanese movies on silver screens.
今や世界中の人々がスクリーンで日本映画を観る。

attract enjoy watch foreign have
go out of business domestic use appear

●●● Grammar Exercise 2

イラストを参考にして、前後の文の対比を表す but に気をつけて英文を作りましょう。

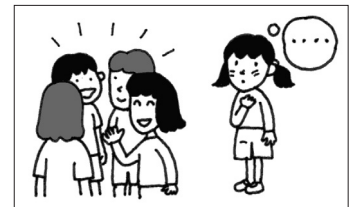
例



1



2



例 Ten years ago, I was poor, but now I am rich.

- Tom didn't like green peppers when he was a child,
but he _____ now.
- She _____ when she was an elementary
school student, but she enjoys communicating with people now.

 Listen Up!


Masa と Karen の会話を聴いて () を埋め、ペアで会話の練習をしましょう。
また、現在形と過去形に気をつけて、文の意味を考えましょう。

Masa: When () the last time you () to the movies, Karen?

Karen: About three months ago. I () much free time these days.

Masa: How about this weekend? () any plans?

Karen: No, actually, I don't. Why do you ask? () to take me out?

Masa: Yes, I do. I've () two free tickets to a movie preview.
() a new Japanese anime and I think it will be a big hit.

Karen: Okay, it's a date!

 Speak Out!

ペアになって、お互いに現在と過去に関することをそれぞれ2つずつ英語で質問し、その答を英文でまとめましょう。

例 Q. *What did you do after school when you were an elementary school student?*
— *Chika played with her friends in the park.*

現在について

Q.

Q.

過去について

Q.

Q.
